



板総第3639号

平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

群馬県板倉町長 針ヶ谷照夫



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について（回答）

国道企第114号にて依頼のありましたことについて、下記のとおり回答します。

記

1 提出書類 意見書 1部

中期的な計画の作成にあたっての意見書

群馬県邑楽郡板倉町長 針ヶ谷照夫

◎はじめに

最近、かなりの時間を要しましたが、塩野七生著「ローマ人の物語」を読みました。ローマ帝国興亡の1000年、何故ローマ人が一大文明圏を築きあげ、それを長期にわたって維持することができたのか。あまたの要因はあるかと思いますが、私は「すべての道はローマに通ず」と言われる街道網の整備、これは実に大きな要因の一つであったと思っております。近年、一部マスコミや中央から道路特定財源の一般化、もう新たな道路は必要ない等の話がありますが、それは地方の実態を知らなすぎる発言であり、大変残念に思います。そこでこの機会に率直な意見を申し述べさせていただきます。

1. 地域住民の最大の関心事は道路整備

地方の道路整備はまだまだ遅れています。地域での対話集会などを通して一番要望の多いのが道路整備です。毎日使用する道路であり、地域住民にとって生活圏道路の整備は切実な要望です。

2. 深刻な財政危機とその対策

地方自治体にとって今、最大の関心事は財政問題です。これまでもまさに血のにじむような努力をして行財政改革に取り組んでまいりました。しかしもう限界に近い状態です。そこでこれから必要なことは、企業誘致や観光振興等、入るを量ることに努力しなければなりません。そのためには道路等のインフラ整備が必要です。(私の町の場合、筑波、鹿島に通じる国道354号の未整備区間4.6kmの整備が急務です)

3. 景観に考慮した道路づくり

これからの価値観を考えますと、景観に配慮した地域づくりが大切です。私の町では今重要文化的景観の選定に向けて努力いたしております。道路も周辺の景観に配慮した整備が必要になってくると考えます。

4. 道路空間の確保

私の町では駅から大学に向かって約1kmの間、幅員40mの道路整備を行いました。片側一車線の道路ですので、歩道部分が両側30mになります。当初無駄との指摘もありましたが、近年、祭りや各種イベント等に活用されています。潤いや安らぎのまちづくり、地域コミュニティを考えると、ところどころにこうした道路ができればと願っています。

5. 横軸（環状線）の整備を

立場上、幅広く道路を利用させてもらっていますが、全体的に東京に向かう縦軸の道路は整備されており感謝していますが、県庁所在地の前橋方面への横軸の整備が遅れています。北関東自動車道や国道354号の一日も早い整備をお願いいたします。

◎おわりに

一軒の家を造るにもしっかりした土台が必要であるように、地域づくり、国づくりにもしっかりと土台が必要であると考えます。そして私はそれが道路整備であると思っております。木を見て森を見ないの例えの如く、とかく表面しか見ない昨今の風潮ですが、本当に素晴らしいまちづくり、国づくりを考えるとやはり大切なのは土台の部分かと考えます。是非、道路整備に力を注いでいただきたいと念願しております。